

山崎小学校
学校だより

あい

岩出市立山崎小学校
令和4年10月12日
No. 12
文責：柏木



あいさつは、元気の源

あんなに残暑厳しい日が続いていましたが、10月に入り一気に季節が進んだようで秋の気配がしてきました。天候は大気の大きな動きに影響されますが、どっしりと日本列島を覆っていた太平洋高気圧も、台風の大きなエネルギーで大気の配置が入れ替わったようです。

ただ、急激な天候の変化、特に気温への順応は少し時間がかかることも有り、結果体調を崩すこともあります。日頃から、運動や食事等で体力を蓄えて、気候にあった服装などで調節することが予防への第一歩です。

校門ののぼり→



季候のよくなった今、スポーツの秋と言われるように、体を動かしましょう。そして、食欲の秋です。おいしい秋の味覚がたくさん出てきます。バランスのよい食事を摂りましょう。



先日、地域の方からうれしい電話がありました。その内容は、「山崎小学校の子どもたちが元気なあいさつをしてくれるのがうれしくて、こちらでも元気をもらえてるんです。」というものでした。

その方は、毎日子どもたちが登校する時間帯に家の外に出て見守ってくれているそうです。いつも、10人ほどで登校してくれる子どもたちですが、高学年の子や低学年の子、男女関係なく仲よく登校しているそうです。遠くから私を見つけてくれると、高学年の子どもたちが元気よく「おはようございます」と言ってくれる。すると低学年の子どもさんも「おはようございます」と言ってくれるんです。少し外に出るのが遅くなったときなど、振り返って「おはようございます」とみんながあいさつしてくれて本当にうれしいです。

そして、私だけでなく近所の田や畑をしている人にもあいさつをしているそうです。気持ちのいい、元気なあいさつは、こちらでも元気をもらえてます。毎日うれしい気持ちにさせていただいているので、是非この気持ちを伝えたくて連絡をしました。

地域の方からは、時にはおしかりの言葉をいただくこともありますが、今回のように山崎小学校の子どもたちの何気ない日常の中でも素晴らしいところ見ている人がいます。あいさつは、する方もされる方もどちらも気持ちがよくなります。継続してあいさつが自然と出来るのは、心地よい気持ちになることを感じ取れているからこそだと思います。

高学年の子ども姿を見て低学年の子どもたちが学んでいく、それが途切れること

なく続いていくことが伝統となります。

今回の電話で、改めて子どもたちは地域の人たちにも守られているんだと感じました。本校の教育目標の「あい」のある学校「支えあい」や「つなぎあい」を実感しました。



学び、挑戦し続ける教師

教師はそもそも学び続ける存在であることが強く期待されています。

「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない」（教育基本法第9条）

時代の変化が大きくなる中で、私たち教師が常に最新の知識技能を学び続けていくことがより必要となってきます。

本校においても毎年、校内研究を進めています。今日的な課題やこれまでの取り組みと児童の実態等から研究主題を設定します。

今年度は、研究主題を「自ら考えを伝え、学びを広げ深める子どもの育成」、副主題を「つながり、学び合う授業づくり」と設定し、日々の授業で取り組んでいます。

特に、「ペア・グループでの対話的な活動の工夫」「対話を促す課題設定の工夫」「系統的・継続的な「話す・聞く」の指導」を視点に取り組んでいます。このペア・グループでの話し合い活動を通して、友達の考えを知るだけでなく、新たな考えを発想したり、1つにまとめたりするなど様々な活動へと広がっていきます。



結果として、子どもたちの学力向上に繋がっていくよう、検証しながら（研究授業や学力調査等の結果等）取り組んでいます。

その他、ICTの効果的な活用などにも取り組んでいます。

主体的に学び続ける私たち教師の姿は、子どもたちにとっても重要なロールモデルとなれるよう、学び、挑戦する教師でありたいと思います。

※ ロールモデルとは、自分の行動や考え方など、キャリア形成の上でお手本になる人物のことです。ロールは日本語で「役割」、モデルは「お手本」を意味する言葉です。

「あい」のある学校の風景



【体育の授業4年】



【出前授業・いなり寿司5年】



【外国語・ALTと会話6年】